

夏の行事 3DAYS summer event



広野駅前盆踊り大会

駅前盆踊りが15日に開催されました。駅前の広場が盆踊り会場、駅前の通りが歩行者天国(縁日コーナー)となりたくさんの人でにぎわいました。



華麗なばちさばきを見せる
楽打の会



歩行者天国となった駅前の通り



くじに夢中な子供たち

14日、亀ヶ崎地区の盆踊りが亀ヶ崎地区集会所で開催されました。地区の皆さんの手作りによる露店が並び、おはやしが会場の雰囲気をつつんでいました。



去年までサマーフェスティバルで行われていた盆踊りが駅前での開催となりこれをきっかけに広野町史(民族・自然編)の盆踊りに関する記事を紹介しします。

盆踊りとは、盆に招かれてくる精霊をなぐさめ、またこれを送るためのものであったが、次第に娯楽的な色彩が強くなってきた。14日と15日の晩を中心に盆踊りが行われたが、古くは、7月中はどこかで盆踊りがあった。夕方暗くなるとはじまり、夜中まで踊っていて、朝になると馬の餌の草刈をしてきて、夕方になるとまた踊ったものだった。

亀ヶ崎地区の盆踊りは、現在は14日であるが、もともとは19日に行っていた。19日は、この地を開いた磐城平藩主 内藤風山公の命日であるという。

旧広野や箒平など、各所の地蔵様では、24日を祭日として、盆踊りが行われていた。新盆の家の提灯を周囲につるして、地蔵様の境内で踊った。昭和12年、13年ごろまでは行っていた。

お盆の行事が過ぎるとそろそろ秋の風が吹き始めます。



1	2	3
4	5	6
7		9
8	11	10

- 1 射的大会の様子
- 2 物産販売ブースの様子
- 3 オープニングを告げる山田町長
- 4 花笠踊り保存会の皆さん
- 5 東京で活躍するひまわり太鼓の皆さん
- 6 阿波踊りを踊る参加者
- 7 子どもたちに大人気の大道芸人
- 8 花火を待つお客さん
- 9 大抽選会の模様
- 10 ライトアップされたステージで力強い演奏を見せる広野昇龍太鼓の皆さん
- 11 6号国道沿いに見る花火